

P12 札幌市周辺国有林における森林再生・森林づくり等の取り組みについて

石狩地域森林ふれあい推進センター 上席自然再生指導官（所長）岡本 和則
自然再生指導官 山本 正司 大野 浩司

取組の背景

石狩地域森林ふれあいセンターでは、台風による風倒被害を受けた野幌での森林再生、定山溪で実施している地域のもりから学ぶ森林づくり、豊平川上流部に植栽する札幌水源の森づくりを、NPO法人、小・中学校、市民等と取り組んでおり、その内容等を紹介します。

取組の内容

1. 野幌森林再生プロジェクト

平成16年9月に発生した台風による野幌森林公園（国有林）の風倒被害跡地について、市民との協働により以下のような「風に強く百年前の原始性が感じられる自然林」へと再生する活動を実施しています。

- ・みんなで森林づくり：植付、下刈体験（毎年15名程度参加）
- ・団体型森林づくり（NPO法人・企業・大学など）
：当初12団体（現在6団体）植付、下刈、成長量調査等
- ・野幌森林づくり塾：年3回開催（毎回30名程度参加）

2. 地域のもりから学ぶ森林づくり

定山溪国有林において地域に根ざした取り組みとして、定山溪小・中学校の生徒と以下のような「地域のもりから学ぶ森林づくり」を実施しています。

- ・身近な自然の観察（調査）と保護（学校周辺緑地の環境保全等）
- ・生徒自らが目指す森林のイメージを描き、それを実現する「ゆめの森づくり」（巣箱、丸太イス、ブランコ等設置）
- ・奥定山溪から採取した幼樹を学校で育て、奥定山溪の土場跡地に植栽する森林づくり（植栽木成長量調査、シカ食害対策等）
- ・森林づくり活動をNPO法人や地域の方々へ発信する発表会の開催

3. 札幌水源の森づくり

豊平川上流部の定山溪国有林は札幌市の水源林として重要な役割を果たしており、この貴重な水源林を次世代へ引き継ぐ取り組みとして、札幌市・NPO法人等と連携し、札幌市中心部（創成川公園）において水源の森に植えるポット苗木づくり（400個）をする体験型イベントを開催し、森林の役割や大切さなどについて市民へPRする普及啓発を実施しています。（参加人数 ポット苗木づくり約400名、現地植栽約70名）



みんなで森林づくり



小中学生によるカタクリ等の
花の観察・保護活動



ゆめの森づくり（巣箱掛け）



ポット苗木づくり



完成したポット苗木



水源の森へ植栽

今後の展開

現在取り組んでいる活動については、関係機関、NPO法人、小・中学校等と連携し、実施方法等を工夫しながら内容の充実を図り、地域の特性を生かした活動を進めていきたいと考えています。